

チームワークで全停電を早期復旧！

調査の結果、漏電が原因であることが判明

停電の原因は、多量の鳥糞

前日から雨が降り続いた早朝5時、「電気事故コールセンター」から全停電発生による出動指示を受けた。直ちにシステムにて、お客さまの設備状況を確認したところ、広範囲な調査の可能性があると判断、当直者に加え1名増員して出動しました。

お客さまへの問診では原因を想定することが出来なかったため、直ちに受電設備の調査を開始。構内第1柱SOGは開放状態、地絡継電器も地絡故障表示があり、漏電が原因の全停電の発生であることが判明しました。

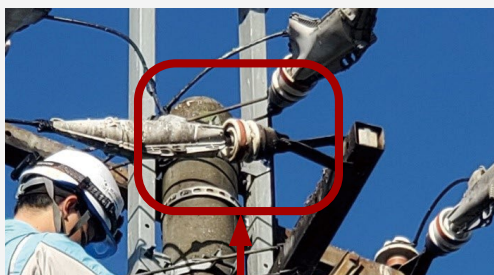
構内は広く、第2変電所が備わっているお客さままで設備量も多い。さらに、お客さま設備には冷蔵設備があり早期に送電の必要性があると判断し、上長と調整の結果、さらに要員を増やし4名体制で原因究明に取り掛かりました。

絶縁抵抗測定の結果、受電設備と第2変電設備との間に原因があると判断し、その間の高圧ケーブル2本と電柱7本間の架空電線の調査を進めました。

電柱を一本一本登り電線の接続箇所及び碍子を目視で確認し、3本目の柱で、高圧耐張碍子に多量の鳥糞が付着しているのを発見しました(写真参照)。直ちに高圧耐張碍子の清掃を行い、絶縁抵抗

抗値が正常値まで回復したことを確認しました。鳥糞が乾燥している間は良かったのですが、多量の鳥糞と雨による漏電回路の形成が停電の原因でした。

仲間の協力もあり、速やかに復旧することができて、ほっと胸を撫で下ろしました。電柱の上、しかも碍子となるとなかなか異常を発見することが難しいのですが、今回の事象を踏まえ、日頃から電柱上の巡視も今以上に入念に行い、停電を未然に防ぐように努めていきたいと思えます。



高圧耐張碍子に付着した鳥糞を清掃する様子

CHECK POINT!

- 早期復旧が求められるなかで気持ちの焦りなどから不安安全作業とならないようお互い声をかけ合った。
- 2組(計4名)で調査を行い、それぞれの状況をこまめに連絡し合った。
- 雨天後の柱上作業のため、安全作業のための監視に力を入れると共に、若手職員に早期原因特定のための点検ポイントを指示した。



reporter

中部電気保安協会
岐阜支店 岐阜南営業所 保安課

(左)浅野 九十九 (右)白井 大凱



電気事故が発生したら
すぐに電話を!!

24時間
365日
対応

電気事故・故障のお問い合わせは
営業所毎のフリーダイヤルへご連絡ください。

※ご連絡の際にはお客さま番号と事業場名称をお伝えください。



フリーダイヤル
一覧はこちら